

応募代表者氏名	住 所		
	〒		
電話番号	ご希望人数（最大 4 名まで）		
	名分		

※ご記入いただいた個人情報は当社規定に則り、目的以外の使用はいたしません。

葛西 紀明 氏 プロフィール

1972年6月6日北海道下川町生まれ
東海大学付属第四高等学校（現東海大学付属札幌高等学校）を卒業後、地崎工業、マイカルを経て2001年11月土屋ホーム入社

小学3年生でスキーを始める。中学3年生の宮様大会テストジャンパーで、優勝者の記録を上回り話題になる。

1988年12月、16歳でワールドカップ（札幌大会）初出場。1992年、19歳でオリンピック初出場（アルベールビル）以来リレハンメル、長野、ソルトレイク、トリノ、バンクーバー、ソチ、平昌と8大会連続で出場。リレハンメルで団体銀、ソチでラージヒル個人銀、団体銅の計3つのメダルを獲得。

2001年11月、土屋ホーム入社

2003年、イタリアのヴァル・ディ・フィエンメで開催されたノルディック世界選手権大会では団体銀、ノーマルヒル・ラージヒルとも銅の3つのメダルを獲得。

2007年、世界選手権札幌大会の団体戦で銅メダル獲得。

2009年、世界選手権団体戦でも2大会連続の銅メダルを獲得。

この年、監督に就任しプレーイングマネージャーに。

2014年1月11日、バートミッテンドルフ（オーストリア）大会で10年ぶりとなるW杯優勝。最年長優勝記録を41歳219日に更新。

同年2月のソチオリンピックでは個人ラージヒル銀、団体銅の2つのメダルを獲得。

同年3月、ワールドカップ最年長優勝、冬季五輪7大会連続最多出場、冬季五輪スキージャンプ最年長メダリストの3つがギネス世界記録に認定される。

同年11月29日、フィンランドのルカで開催された



ワールドカップ個人第3戦で自らが持つ最年長優勝記録を42歳5ヶ月に更新、通算優勝回数を17回（日本人男子最多）とした。

2016年1月30日、第一子となる長女が誕生。その翌日にはFISワールドカップ札幌大会で3位に入り、ワールドカップ最年長表彰台記録を43歳240日に更新。さらに同日「ワールドカップ最多出場」「ノルディックスキー世界選手権最多出場」の2つが新たにギネス世界記録に認定され、計5つのギネス世界記録ホルダーとなった。

2016年3月17日、プラニツァ（スロベニア）で開催されたFISスキージャンプワールドカップで前人未達の500試合出場を達成。

2017年3月26日、プラニツァ（スロベニア）で行われたワールドカップ個人最終戦で3位に入り、3月19日の2位に続いて2016-2017シーズン2度目の表彰台に上がり、自らが持つW杯最年長表彰台記録を44歳9か月に更新した。

2018年2月、連続8度目となる平昌オリンピックに出場。

2018年4月、自身の持つギネス世界記録「冬季五輪連続最多出場」「ワールドカップ最多出場」を更新した。

2020年4月、「ワールドカップ最多出場(569試合)」のギネス世界記録が更新された。

2021年3月3日、第92回宮様スキー大会ノーマルヒル競技で3位タイに入り2020年2月11日の雪印メグミルク杯3位以来386日ぶりの表彰台となった。